

CONTENTS

- 4 菊水通信 大人の嗜み
- 5 特集  
**西しばた地区を歩く。**
- 16 **Spiral Life** ~終わりのないバタハタへの旅~  
第28回 映画回復活の夢
- 17 今月のどびっさり  
手づくりお菓子
- 18 れこめん道
- 19 寺日和 ~長篠寺の記憶~  
第28回 帰ってきた安兵衛と田中将大投手
- 20 **塩津潟と都岐沙羅柵のロマン**
- 21 なべちゃん健康通信
- 22 nikotan's voice
- 24 忘新年会のお店特集
- 27 街角いいいたいほ~だい
- 28 せんたく屋のおやざい
- 29 クーポンコーナー
- 30 クイズ&プレゼント
- 31 しばた犬しば猫

**忘新年会のお店特集**

今年もおかれませんでした。一年を締めくくるときの季節。気の合う仲間とともに、おいしいお酒とお料理を、楽しみましょう！

「P.P.P.」  
「お酒の味は、お料理の味をいかに引き出すか」

塩津潟と都岐沙羅柵のロマン

伊藤 國夫

〈最終回〉塩津潟と都岐沙羅柵の認識が広がる

「崇徳寺潟ではなく塩津潟なので、潟」とか「塩津潟と崇徳寺潟は同じ潟のことだからですね」また「都岐沙羅柵は船内市にあったのですか」「都岐柵と都岐沙羅柵は違うのですね」と、敬和祭や小祭祭の会場では、新年会盛装発表会も、

画学関係主題は「塩津潟とむかしの山古墳」と写真展でした。今回は塩津潟の総園や都岐沙羅柵の学問的なものに加え、盛装発表会の写真を多く展示しました。見学者からは、「写真が多くて解りやすかったです」という意見が聞かれました。現在は同じ主題で盛装発表会もあいて、展示中です。

塩津潟は、より10年代から崇徳寺潟という酒名が登場し、約70年間のまきにわたり崇徳寺潟として呼称し、伝承されてきました。

しかし私は本来の酒名である塩津潟または「塩津酒(崇徳寺潟)」と呼称し、記憶されるべきと考え、研究



14号展示の様子  
(平成25年10月26日、新潟県立中央高校)



伊藤 國夫  
新潟県佐和田市  
都岐寺町 都岐寺  
都岐寺町 都岐寺  
都岐寺町 都岐寺

を続けてきました。ホトメ「塩津潟の由来」の開設や「塩津潟は塩の道の出版」講演会など、「古絵図展」の企画等を通して、本来の「塩津潟」と呼称されることに努力してきた結果、新潟県や各市町村からの公文書に「塩津潟」か「塩津湖(崇徳寺潟)」と表記されるようになったのであります。21世紀に入りようやく約280年ぶりに本来の塩津潟としてよみがえりつつあると実感しています。

また塩津潟周辺に存在したであろう大和政権の城柵「都岐沙羅柵(58年)」についても、治世柵(647年)や磐舟柵(648年)と並び、新潟県内に遺存された城柵という認識が広まってきました。

塩津潟や都岐沙羅柵を立証する古絵図や古文書を探し出すのは、50年の歳月を費やしましたが「塩津潟は塩の道が存在したこと、都岐沙羅柵も比定する上でできました。」

長い年月をかけて集めた多くの資料からの情報は、意欲や本気の学問祭りで次の世代へ引き継がれたらと感じます。研究内容は、学生たちだけでなく、参加した市民の皆さんにも広く認識されたいと実感しました。

「街角」をもっと好きになるフリーマガジン【街角こんばす】

# Compass 12

Free Magazine  
December 2013  
Vol.122



【街角こんばす】  
**Compass**  
2013.12.1 vol.122

編集 撮影/宇野/寺田 雄一(寺田デザイン事務所)  
撮影 撮影/徳所/BOULANGERIE Pas à Pas  
STAFF  
発行人/編集長/西村 純子  
表紙/写真/宇野/寺田 雄一(寺田デザイン事務所)  
デザイナー/A.I.

西しばた地区を歩く。